

シンポジウム グローバルな視野からとらえた日本の茶と茶文化



2023年3月25日（土）13:00～16:50
静岡大学人文社会科学部A棟6階大会
議室（入場無料）

日本史・東洋史・イギリス文化研究を専門とする研究者たちが、それぞれの視点から近世から近代にかけての日本の茶・茶文化について考えます。お気軽にご参加ください。

- 趣旨説明（戸部 健：静岡大学）
- 岡村 龍男（豊橋市図書館学芸員）
大正期の静岡県における製茶の実態
—製茶監督員河村宗平の指導記録を中心に
- 戸部 健（静岡大学）
1920年代のアメリカ合衆国における中国
茶の宣伝—日本茶の宣伝との比較から
- 吉田 建一郎（大阪経済大学）
1930年代、日本茶のモロッコ向け輸出に
ついて
- 鈴木 実佳（静岡大学）
喫茶と集い—イギリスと日本の文学から

お問い合わせ先

戸部 健 (tobe.ken@shizuoka.ac.jp)

※本シンポジウムは、科学研究費補助金基盤研究（C）「グローバルな視野からとらえた日本の茶と茶文化に関する学問横断的研究」（20K12318、研究代表者 戸部健）の助成を受けています。